

遠野

市議会だより | NO. 4
2006.7.27



撮影：瀧澤征幸委員

この道ひとすじ 技〜わざ〜

手作りの味を大切にと豆腐作りを続けている宮守町達曾部米田生活改善グループの多田悦子さん(68歳)。地区では、昭和55年から減反による大豆生産と豆腐作りを始め、その活動は全国の農業関係団体の評価を得てきた。品種が混じらないよう地域では同じ大豆を栽培し、グループを中心に製造・消費されるほか、一部は産直でも販売している。日によって同じものができないとのことだが、何よりも、都会にはない、自分たちが作り味わう贅沢があるとのこと。

■主な内容

6月定例会

- 市総合計画基本構想を可決
- 寺沢牧野肥料散布について

市総合計画基本構想を可決

6月定例会

平成 18 年第3回定例会（6月議会）を6月9日から 16 日までの8日間開催しました。

今定例会では、一般質問には 10 人の議員が登壇して、新市の施策全般にわたり質問がありました。

提案された条例5件、専決処分5件、その他4件、全 14 議案を原案のとおり可決しました。

また、最終日には請願3件（2件継続審査）と議員発議による意見書1件を可決しました。



今議会では 10 人の議員が一般質問を行った。

議

案

討

論

- 遠野市国民健康保険診療施設使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 遠野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合同約の一部変更の協議の専決処分に関し承認を求めることについて
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び岩手県市町村総合事務組合同約の一部変更の協議の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成 17 年度遠野市一般会計補正予算（第 3 号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 遠野市総合計画基本構想について
- 非核平和都市の宣言について
- 遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市障害者自立支援法施行条例の制定について
- 遠野市中小企業振興資金融資あっせん条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市国民保護協議会条例の制定について
- 遠野市国民保護対策本部及び遠野市緊急対処事態対策本部条例の制定について
- 遠野市立上郷小学校屋内運動場改築（建築）工事の請負契約の締結について
- 字の区域の変更について

（反対）市税条例の一部改正・障害者自立支援法について 及川昇一議員

地方税法の改正により、国の税源移譲等で自治体間格差が開く事と、損害保険料控除がなくなり地震保険のみ控除される改悪である。障害者自立支援法施行条例は罰則規定の制定で自立支援になじまないため反対する。

（反対）国民保護協議会条例等の制定について 小松大成議員

二つの条例制定は、いずれも「国民保護法」に基づき、制定されるものであり、この法は国が有事とみなせば国民の人権を無制限に制約する戦争立法であることから反対する。

（反対）障害者自立支援法施行条例の制定について 細川幸男議員

障害者自立支援法は障害者を支援するものであって、障害者の報告に過ちがある場合、遠野独自に 10 万円の罰則規定を作る等は「弱者に厳しく、強者に優しい」遠野市にするだけのことであり反対する。

（賛成）遠野市総合計画基本構想について 菊池一勇議員

今後 10 年間の方向が構想に盛り込まれ「永遠の日本のふるさと」を目指し、遠野スタイルの創造が基本となっており、市民・行政が一体となったまちづくりが期待出来るものとの思いを込めて賛成する。

市街地活性化と都市基盤整備は



河野 好宣 議員

【質問】 都市部や大企業を中心に景気は完全に回復したとされているが、岩手県の有効求人倍率は全国平均を大きく下回り0.75倍、当地域においては更に下回り0.43倍である。この地域間格差をどうとらえるか。また今国会で成立した「まちづくり3法」の改

正によって中心市街地の活性化は可能か。

【市長】 経済構造は質問者の見解と同じくとらえており地方経済は疲弊している。「3法」の改正は本市の方針と合致しており好ましい。100地区程度を選択することで自治体間競争が激化するが、果敢にチャレンジしていく。

【質問】 下一日市地区は今年度で完成とのことであるが駅前顔として昭和60年代に計画着工された駅前整備事業は途中でストップ、当初は下一日市地区と一緒に計画された上一日市・仲町は商業の振興、中心市街地の活性化にも係わると考えるが市長の覚悟はいかに。また着工以来5年目になる稲荷下第二地区は、なかなか進まない。平成17年度末でやっと18.5%である。新手法や事業の前倒しも視野に入れながら積極的に進めるべきと考えるがどうか。

【市長】 駅前是一部、整備が未完成であり中心市街地活性化プロジェクトの中で全体像を検討しつつ進める。また上一日市、仲町についても高齢社会の中、街中居住地区や中心市街地全体のあるべき姿を検討しながら取り組む。稲荷下第二地区は本年度において全体計画の20.8%を見込んでいる。厳しい財政事情の中だが進捗を図るため、新制度の導入や財源振り替えなどで財源確保に努め事業を推進していく。

【その他の質問項目】

「ことばの教室」の今後について



中心市街地の活性化が望まれる

無医地区になった上郷町に国保診療所を



菊池 民彌 議員

【質問】 旧市村の所得格差の是正が市政課題だ。どんな施策で宮守地区の所得向上を図るのか。

【市長】 農業分野では、やる気のある農業支援をし、新市一体の所得向上に向け行動する。二次産業は、第6次産業の観点から産業振興を図る。宮守の貴重な資源である「わさびバイオ技術」を産学官民連携で共同研究を進める。起業促進、新分野進出等の経営革新事業を宮守へも展開する。

【質問】 上郷診療所が閉院され、医師不在となった。今の診療所を国保診療所にするために条例改正し週1~2日の診療が欲しいが。

【市長】 条例改正し、国保診療所化の提言は医師確保の観点、他の診療所との兼ね合い、交通体系など全体バランスを鑑み検討が必要だ。利用件数などを協議し、市内開業医と連携し進めることで検討している。

【質問】 上郷診療所が閉院され、医師不在となった。今の診療所を国保診療所にするために条例改正し週1~2日の診療が欲しいが。

【市長】 総合計画策定中である。汚水処理計画の見直しを進めている。効率的・効果的に整備が進められるように導入地区、実施時期を検討していく。

【質問】 基本構想について、①目玉事業は。②10億円の財源不足は事業に支障は。③農業所得向上策は。④工業団地整備は。⑤少子化対策は。

【市長】 ①快適居住環境等の整備。②財源不足が生じるが主要三基金の活用と歳出の抑制と歳入確保に努める。③情報の先取が重要、有利販売の取り組みが必要。④造成工事等の許認可に時間をかけないことが必要。⑤少子化対策総合プラン策定プロジェクト・チームを設置した。

【市長】 ①快適居住環境等の整備。②財源不足が生じるが主要三基金の活用と歳出の抑制と歳入確保に努める。③情報の先取が重要、有利販売の取り組みが必要。④造成工事等の許認可に時間をかけないことが必要。⑤少子化対策総合プラン策定プロジェクト・チームを設置した。



福祉の里に併設している中央診療所

市 総合計画基本構想について



石橋 達八 議員

【質問】 新遠野市総合計画の基本構想について「市民は行政を映す鏡」である。遠野スタイルの実現には行政の姿勢が大切だ。また、政策の効果的実現、税の使い方が問われている。職員の人材登用にしても、実力主義的な新たな基準も必要ではないのか。

〔市長〕 当市はこれまで、全国の自治体に先駆けたまちづくりを行ってきた。これらを契機に市民が主役となり、地域づくりを行政と一体となって取り組んできた。この基本的スタイルでさらに産業の活性化や少子化対策、環境問題等、更なる充実を図る。職員の姿勢では「遠野市人材育成基本方針」で職員研修の充実、人事制度改革などにより、能動型の職員の育成を目指す。政策評価については外部評価も導入して事業の企画段階で判断指標としている。

【質問】 中心市街地整備の完成度、熟成度を高め、観光振興と連携、高齢者が歩いて暮らせるまちづくりが求められるが。

〔市長〕 市街地の活性化事業全般としては、商業面では苦戦しているものの、空き店舗活用、高齢者福祉施設のオープン成果も見られる。今後、田の字型観光ネット、市街地観光スポット、まちづくりの担い手育成など全般的な計画作成、具体的活動も検討する。

【質問】 市街地のあり方として、商業、文化とともに平和をアピールする施設があってもいい。蔵の道ギャラリーの前の公園を、人権の人、杉原千畝の名を冠し杉原公園として永遠に夫妻を顕彰できないものか。

〔市長〕 市民に親しまれ、かつ、全国に発信できるインパクトのある名称が望ましいため、今後名称を検討する際には地域の方々との意見交換を踏まえつつ参考にしたい。



蔵の道ギャラリー前の公園

教 育基本法改定について



小松 大成 議員

【質問】 教育基本法改定案が国会で審議されている。国民の関心の高い教育に関わる重大な内容を持つ法律であるにもかかわらず、わずか一ヶ月あまりの国会会期内に改定しようとしている。このような重大な法案は徹底した論議を尽くす時間を確保し国民的論議の高まりが必要

である。私は、教育基本法改定案に反対するものであるが、市長の見解を伺う。

〔市長〕 今国会の会期の延長がないとの報道もあり、厳しい審議日程の中で審議を見守っているところである。国民の関心の高い教育基本法案であるので、しっかり審議をつくしてほしい。

【質問】 除雪に対する市民からの要望苦情が今年の冬も多くあった。しかし、春の到来とともに忘れ去られ何ら対策をとらないまま問題が繰り返されるのではと危惧される。今から対策を講じるべきである。

〔市長〕 県と市の新たな行政システムの構築により、県・市一体となった取り組みが可能となる。その中でロータリー除雪車の活用も可能になるのではないかと。除雪のみならず市民と行政が一緒に取り組む協働によるまちづくりをとの提言は貴重な意見である。

【質問】 県教育委員会は教育公務員に対して成果主義賃金の導入を明らかにした。教育の現場に最も教育的でないとして、批判を浴びて6月実施は見送ったものの、制度そのものは実行しようとしている。この制度に対する教育長の見解を伺う。

〔教育長〕 教育委員会や校長等この評価の方法等に理解し問題点を論議する場の設定がないまま進められ不安や不満が起きている。県教委には周知理解に努めるよう要望した。



元気に運動する子どもたち

猿ヶ石川の再生について



鈴木 民雄 議員

【質問】 市から提案された総合計画には、今後10年間の見通しとして人口減少や高齢化、財政事情の厳しさ等が示されているが、それを克服すべき方針が欠けている。これからの10年間は釜石道や横断道の延長開通により、交通事情や企業誘致の条件等が大幅に改善され

飛躍的10年となるが、それを先取りした開発構想により発展性を力強く現わすべきではないか。また、基本計画には各町から要望されている建設事業を始めとする課題の対応策がどれほど具体化されるか。

〔市長〕 この度の総合計画は、合併協議会で定められた新市建設計画により作成されたことからこのような形になった。提言いただいた内容及びこれまでに要望を受けている建設事業等については、9月までに作成される基本計画に示したい。

【質問】 猿ヶ石川の再生についての件が昨年度は国県に対する要望事項に入っていなかったが、その必要性をどのように捉えているか。

〔市長〕 猿ヶ石川の改修については今後も重要課題として取り上げていく。

【質問】 柏木平地区に整備されている施設は共に経営状況は良くない。その原因は要となるヤナが構造的欠陥によりアユが取れないことにある。原因さえ解消されれば、収穫があがり全体に効果が波及し再生は可能となるがその方針を示せ。

〔市長〕 柏木平地区の施設経営については運営組織の見直しを始め思い切った手段を講ずる必要がある。ヤナの改造に限らず、遠野郷の一大リゾート地として活用できるよう改善を図っていく。



いっそうの再生が望まれる猿ヶ石川

遠野の観光について



八重樫 正昇 議員

【質問】 遠野郷としての観光のあり方について、産業振興部の中にふるさと交流課を設置し発信しているようだが、今後どのように全国にアピールしていくのか。遠野郷の活性化は文化に触れる滞在体験型、体験を通しての魅力、良さを知ってもらうことが交流課の役割ではないのか。

〔市長〕 この4月に観光を基盤として、定住の促進を目的に「ふるさと交流課」を立ち上げた。豊かな観光資源を活かし、遠野ツーリズムなどの体験型観光を進め、2月に遠野民泊協会が、4月には宮守ツーリズム協会が立ち上がり、連携して取り組みたい。

【質問】 団塊の世代への呼びかけについては、観光を通して遠野の魅力为全国に発信し魅力をPRする事によって定住に結びつくのではないか。これを実現できるのは、永遠のふるさと遠野郷であり、そのためには受入条件を整備する必要があると思うが。

〔市長〕 環境、住居、医療の充実等受入態勢が必要である。合併を機に専従職員を置き、定住促進のあり方を検討し全庁を挙げて取り組みたい。

【質問】 宮沢賢治の銀河鉄道で一躍全国に知られるようになり、又貴重な土木遺産でもある通称めがね橋周辺について、観光客にロマンあふれる、憩いの場として自然を活かしながら景観を整備する必要があると思われるが。

〔市長〕 当地は「歴史的土木建造物の保存に資すること」を目的に創設された「土木学会推奨土木遺産」として平成14年に認定を受けた。周辺の自然環境も合わせながら整備に当たっては、景観はもとより総合的活用について、宮守地区まちづくり会議が中心となり検討している。



土木遺産でもある通称めがね橋

岩根橋地区に案内板設置を



松田 初 議員

【質問】 宮沢賢治の有名な童話である「銀河鉄道の夜」のモチーフは、軽便鉄道当時の達曾部川橋梁だと言われている。この橋のある岩根橋地区の観光整備をすべきと考えるが。

【市長】 この橋梁の所有者であるJR東日本と協議して、国の登録文化財指定を

目指す考えだ。今後は隣接する花巻市と連携を図って、国指定への推移状況を見ながら、カメラスポットとして案内板を設置したい。

【質問】 来年4月実施となる品目横断的経営安定対策への取り組み、そして集落営農推進の構想はどうなっているか。

【市長】 この対策の対象者要件である4ha以上の認定農業者は、5月現在368経営体のうち106経営体だが、安定対策事業加入へ重点的に支援していく。集落営農組織については、現在、市内204の全集落を含む138集落水田農業ビジョンが出来ており、今後は再度全集落で座談会を開催する。「集落営農へと誘導する地域」、ほ場整備実施地区の「隣接集落を合体しての営農に誘導する地域」、これ以外は「認定農業者中心地域」として進めたい。市とJA合同の担い手支援センターも設置された。

【質問】 JA遠野の決算状況が厳しいようだが、市はどう見ているのか。

【市長】 JA遠野ではこの重大性から、総力を挙げて解決する第5次3カ年計画を示し、健全経営に取り組むとされている。自らの改革を確実に進める自助努力が必要だと認識している。県内の農協改革も動き出し、現在17農協であるのを3年間で6農協にする基盤強化方策も進められている模様だ。



観光スポットに期待される岩根橋地区

ペレット燃料の安定供給策は



織笠 孝之 議員

【質問】 市政課題に対応した行政組織の設置について、市民協働による経営改革推進チーム、少子化対策・子育て支援総合プラン策定プロジェクトチーム、健康づくり総合プログラム策定準備室、遠野まちなか賑わい創出プロジェクトチーム、馬事振興プロジェクトチーム、「遠

野物語」発刊100周年記念事業プロジェクトチームの6部門を設置し、市政課題解決に全庁横断的な組織での取り組みとしているがどういう中味か。プロジェクトの名称が長くて分かりにくいのではないか。

【市長】 プロジェクトの名前を見れば何をやっているかがわかることで理解いただきたい。知名度を高めるための努力をしていく。総合計画のワーキンググループ30を立ち上げ、プロジェクトに反映させるようにする。

【質問】 上郷中学校、青笹保育園・児童館に今年度導入になるペレットボイラー燃料が安定供給できるのか。どのようなルートで供給を受けるのか。市としても森林整備と併せ木工団地でペレット燃料を製造販売すべきはないか。

【市長】 ペレットの購入については、合理的な近隣市町村との連携が不可決であり、隣接する住田町を考えているが、コスト意識を持って望みたい。万が一供給できない場合は住田町とのかかわりの中で対応していく。また木工団地を生かしていくことも大事である。

【質問】 産婦人科対策は医師確保の問題が出てから4年も経過しても見通しが見えないが、どのような取り組みをしているのか。

【市長】 重点的に医師確保対策に取り組むため、医師確保担当職員を配置し、医師確保のための活動を展開している。努力をしているが、医師のいろんな事例や条件があるようで確保に至っていない。



青笹保育園にもペレットボイラー導入予定

幼保一元化について



佐々木 紀雄 議員

【質問】 人口推計によれば平成30年には市内の小学生が約1350人、中学生が約700人になると見込まれる。このことから、学校再編は不可避であり、市も再編に向けて取り組んでいるが具体的な計画があれば示せ。

【教育長】 質問のとおり、将来の生徒数減少によりク

ラブ活動等に支障をきたす可能性が大きく、学校再編は避けられないと認識している。特に中学校は全校で50名前後の学校が半数以上にのぼることから再編を急がなければならない。8月頃まで市内の「内部検討委員会」で議論し、9月以降出来るだけ早い時期に市民や有識者を交えた「再編検討委員会」を設置し、19年度中に一定の方向を示す予定である。

【質問】 幼保一元化は同一建物内で幼保教育を行うという、旧宮守村が時代に先駆けて導入した優れた施策であるが、市の「経営改革大綱」では平成20年にも民営化の方向としている。国も幼保一元化に向けた検討をしており、今後も幼保一元化を堅持すべきと考えるが市の考えを示せ。

【市長】 幼保一元化は旧宮守村が行ってきた特徴的な施策であり、そのことについては新市になっても尊重していきたい。国は「認定こども園」という幼稚園と保育所を合わせた形態をスタートさせようとしている。経営改革大綱では18年度に運営方針の検討、19年度に運営方針の決定、20年度には民間主体の運営に移行していくこととしているが、国の動向を見極めながら保育の質や経済的な負担を含む公平な保育のあり方について検討していく。

【質問】 若年層の就職支援について他市のように就業サポートセンターを設置し、就職支援していく考えはないか。

【市長】 「とびあ」において各種助成・支援制度に関する情報提供、個別カウンセリングや能力・スキル向上のためのアドバイスなど離職者に対して相談・助言の支援を行っている。



一元化で運営されている宮守保育所・幼稚園

遠野独自の弱者救済対策は



細川 幸男 議員

【質問】 農業担い手経営安定交付金について、食料自給率45%の旧態以前の政府案に対し、黄川田徹衆議院議員は7割の農家をつぶすと地方の文化は壊れてしまうと政府案に反対していましたが、市長の考えを伺う。

【市長】 全国一律で考えるのではなく、地域の特性を

生かしていくことを訴えていきたい。

【質問】 第3セクターについて、馬の里等は民間委託の方向で何れは黒字に転じる事ですが、ホテルについては、3,500万円の家賃をもらうために委託料名目で5,000万円をホテルに払っている現実があります。にもかかわらずホテル経営は黒字として、株主の利益配当を行う等は、汗水流し、血を流し、命まで削って懸命に生きている市民にとってはやり切れない思いです。柏木平交流施設は、遠野市の第3セクターの中で一番赤字が出ている訳です。早急に専門家や市民の声などを集約し、創意工夫をこらしても黒字経営見込みがなければ処分すべきと思います。継続するなら、川の駅構想とか、温泉を掘って長期格安滞在のやすらぎの島等にして、遠野市在宅入浴者にも本物の温泉を利用させる大胆な構想にすべきではないか。

【市長】 経営改善を進めるために市長が代表取締役となることとした。市民の声や、いろいろな角度から検討し、夢もてる再建計画を進めてまいります。

【質問】 障害者自立支援法について、利用者の一部負担と言う考え方も国の財政事情からして理解出来ない訳でもないですが、自立支援と言う言葉は聞こえは良いのですが、実際には障害者の一割負担法に感じてなりません。遠野独自に支援する方法はないか。

【市長】 法律が施行されて行く中で課題が予測されたり生じたりした場合は、弱者救済は当然のことであり最善を尽くしてまいります。



今後の活用が期待される柏木平地区

予算等審査特別委員会 6月14日~15日

予算等審査特別委員会（議長を除く36人の議員で構成、委員長小笠原隆男議員、副委員長山蔭正義議員）は、条例5件、専決処分5件、その他4件の14議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今定例会では、新市の総合計画基本構想が提案され、新市の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全14議案が原案のとおり可決されました。



活発な質疑が行われた委員会審議

寺沢牧野の肥料散布の遅れに議論集中

寺沢牧野の肥料散布の遅れについて

【質問】 寺沢牧野で牧草地への肥料散布が遅れ一番草の刈り取りが絶望的となり、粗飼料確保の面で利用者から不安の声が出ている。大きな問題ではないか。
【答弁】 業者の登録、契約、入札の手続きに時間を費やし、適期を失ったものでお詫びする。もっと迅速に行うべく来年へ向けて関係部署が連携を密にして取り組む。

【質問】 責任のない結果として損失を生んでいる。もっと深刻に受け止めて対処すべきだ。本所と宮守総合支所とのあり方を真剣に検討するなど課題が多い。今回のやるべきことをやらないでの損害発生について、責任ある答弁を求める。
【答弁】 当たり前のことを当たり前に進めることをきちっとしなかった点、市として遺憾であったと反省する。



畜産振興にかかせない寺沢牧野

転作配分について

【質問】 昨年、県より配分された転作面積より多く転作しても、12月には県内で一番多い転作増加率で配分を受けた。作付けできるのにかかわらず水張り減反も多く見られる。18年度は転作配分面積より約70ha多いと聞いているが、この部分に米を作付けすると約1億円の増収が見込まれる。したがって転作作付け配分面積に近い面積にできないものか。

【答弁】 今まで、配分面積目標をクリアしないとペナルティーもあることから超えないようにしていた。しかし、年度途中から作付けを増やせば不公平を生じかねない。今後は各関係機関と協議、検討しルール作りをして100%近い作付けが出来るようにする。

「日本のふるさと遠野」の表現について

【質問】 「日本のふるさと遠野」という言葉の表現は、全国の自治体への配慮を欠いたものではないか。他自治体に対して失礼に当るのではないのか。日本は、全国の自治体で構成されているのであり、国民一人ひとりが自分のふるさとを持っている。我が遠野市だけが日本のふるさとだと言い切ってよいものか。使っている言葉と、よくない言葉がある。仮に適切だと思うなら、今後商標登録をしないのか。

【答弁】 商標登録よりも、市民に共通理解していただくことが最優先であり、市外の方にとっても日本のふるさとだと認めてもらえるようなまちづくりをしていきたい。郷土愛を大切にしていってまちづくりに取り組んでいくという気持ちをみんなで見たいということからあえてこの言葉を使っている。

遠野市総合計画
基本構想について

【質問】 旧遠野市と旧宮守村が合併したことにより、「民話のふるさと」にめがね橋を中心とする「宮沢賢治」の世界も加わることになり、観光面でも大きなプラスになると思うが基本構想の中でそのことについて記述が無いのはなぜか。

【答弁】 指摘のとおりであり、今後策定する基本計画の中で取り入れていきたい。

履き違えるな
協働の意味

【質問】 総合計画を市民と行政の協働で実施していく場合、行政側が協働の意味を履き違えて住民に丸投げをすとか、押しつける形になると不信感だけが先行してしまい一番大事な信頼感のないまま総合計画を進めなければならなくなると思われる。そこで全職員自らが協働の意味をよく理解し、その上で住民の理解と協力を得ながら進めなければ、いくら立派な計画をたてたとしても実りの少ない結果になると思うが。

【答弁】 新聞紙上に綾織小学校の建設について住民が参画している旨の記事が掲載され、また上郷小学校も同様の手法で建設された。決して住民に丸投げや押し付けすることなく、そのようなことを一つひとつ積み上げて住民と共にまちづくりに取り組んでゆきたいと考えている。



このたび改築された上郷小学校

控除から
火災保険が除かれる

【質問】 市税条例の改正で、「損害保険料控除額」が「地震保険料控除額」に改められるが、地震保険は損害保険に入るが、火災保険は地震保険に入らない。今まで対象であった火災保険が控除の対象から外されるのか。

【答弁】 損害保険料控除は廃止されるが、経過措置として平成18年12月31日までに締結した火災保険料については、損害保険料控除が適用される。

【質問】 市税条例の改正であり、経過措置があるとはいえ火災保険が控除対象外となるので、この分は改正すべきでないと思うが。

【答弁】 火災保険が控除対象外はそのとおりだ。これは地方税法の改正にともなう改正であり、市独自の条例は作られない。

障害者への
罰則規定について

【質問】 職員の質問に対して正当な理由なしに答弁せず、若しくは虚偽の答弁した者とあるが、正常者はそのとおりだが、精神障害者も含まれているので、この罰則規定の措置は適正か。

【答弁】 障害者自立支援法の「できる規定」で定めているもので、本人だけでなく家族も含めた形である。

【質問】 家族を含めるなら分かるが、虚偽かどうかは時間がかかり、過料の罰金10万円は刑事罰に相当する額なのでは。

【答弁】 過ち料であるので、刑事罰には該当しない。

【質問】 市で罰則を設けることは、自立支援法の弊害が出ており、今までほとんど無償であったものを振り分けて自己負担を強いるためではないか。

【答弁】 認定区分を公正かつ適正に行い、審査会の報告に必要な事から、職員が事前に調査活動を確実に行うための項目と思われる。

議員談話室

今定例会では予算等審査特別委員長を務めさせていただきました。

委員会は2日間という短い日程でしたが、活発な質疑が交わされ大変内容の濃いものでした。

特に市総合計画基本構想については、環境保全をはじめ人口減少、若者定住、産業振興、中心市街地活性化、医師確保、子育て支援、観光振興、市民と行政の協働など多岐にわたり熱心な議論が交わされました。その結果基本計画作成にあたっては、委員会での各委員の意見に十分配慮してとりまとめるよう申し入れ、採決では起立全員をもって原案のとおり決しました。

新市として初めての総合計画は「遠野スタイルの創造」を基本理念として、その将来像には「永遠の日本のふるさと遠野」を掲げて取り組んでいくことになりました。(小笠原隆男議員)

請願審査報告

今定例会には、3件の請願が提出されました。産業建設及び総務常任委員会における審査及び本会議の議決結果は以下のとおりでした。

■日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願

〔請願者 遠野市農民組合代表者 阿部 喜一〕

審議結果 採択

■「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願

〔請願者 遠野市農民組合代表者 阿部 喜一〕

審議結果 継続審査

■住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願

〔請願者 岩手県労働組合連合会 議長 菅野 恒信 外1名〕

審議結果 継続審査

○請願の取り下げ

■公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める請願

議員発議案

今定例会には、1件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書は以下のとおり。

■日本と同等の安全対策が実施されない限り、アメリカ産牛肉の輸入再開をしないことを求める意見書

【要旨】 日本と同等のBSE安全対策が実施されない限り、アメリカ産牛肉の輸入再開をしないことを求める。

意見書の送付

今定例会で可決した意見書1件は、平成18年6月16日付け、遠野市議会名で内閣総理大臣、農林水産、厚生労働各大臣あてに送付しました。

●訂正

前号の一般質問者の表示に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤) 菊池 邦 議員 (正) 菊地 邦 議員

わたしたちの ひとこと

須田智子さん(左) | 魅力いっぱいの
廣川ゆりさん(右) | レイクリゾート
宮守町下鱒沢



柏木平に来て8年になります。当初はこんなに長く居つつもりはなかったのですが、島地区がとても居心地が良く、いつ

の間にか長くなってしまいました。

ここはとても素敵な場所ですが、柏木平レイクリゾート地区全体の改革が行われようとしているようで、これからここがどうなっていくのか心配でもあります。

毎年多くのリピーターの方達が訪れるコテージランドは大きな魅力を秘めています。もっとその魅力を伝えたいし、もっとたくさんの人に訪れて欲しいと思っています。

そのために私達も自分達に出来ることを一生懸命頑張りたいと思います。

9月定例会の予定

◆定例会は9月15日(金)開会の予定です。

詳しくは議会事務局まで。

○議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。

議会事務局62-2111(内線271)

gikai@city.tono.iwate.jp

Information

編集後記

合併による議員任期も10月いっぱいとなり、何となくソワソワし始めた感があります。新市まちづくりの基本方針は「二つの個性が融合し、躍動する、新しい遠野郷の創造」ですが、議員も融合して、当局をしっかりチェックする機能を確立しなければなりません。

今議会において審議が度々中断し、視聴者から苦情の電話が寄せられたとのことですが、市民を意識するあまり、質問を抑える、或いはテレビ映りのためのポーズを取る事は、議会制民主主義を歪めてしまうものと危惧しております。議案審議のスタンスとして、単に議案からそれた議論をすべきでないという考えだけでは、当局の考え方や事業の組立てにおける哲学を知ることができず、また、議案から派生する様々な課題を掘り起こすなど、市民の側に立った、市民のための議論、深みのある議論とはならないと思います。(龍)